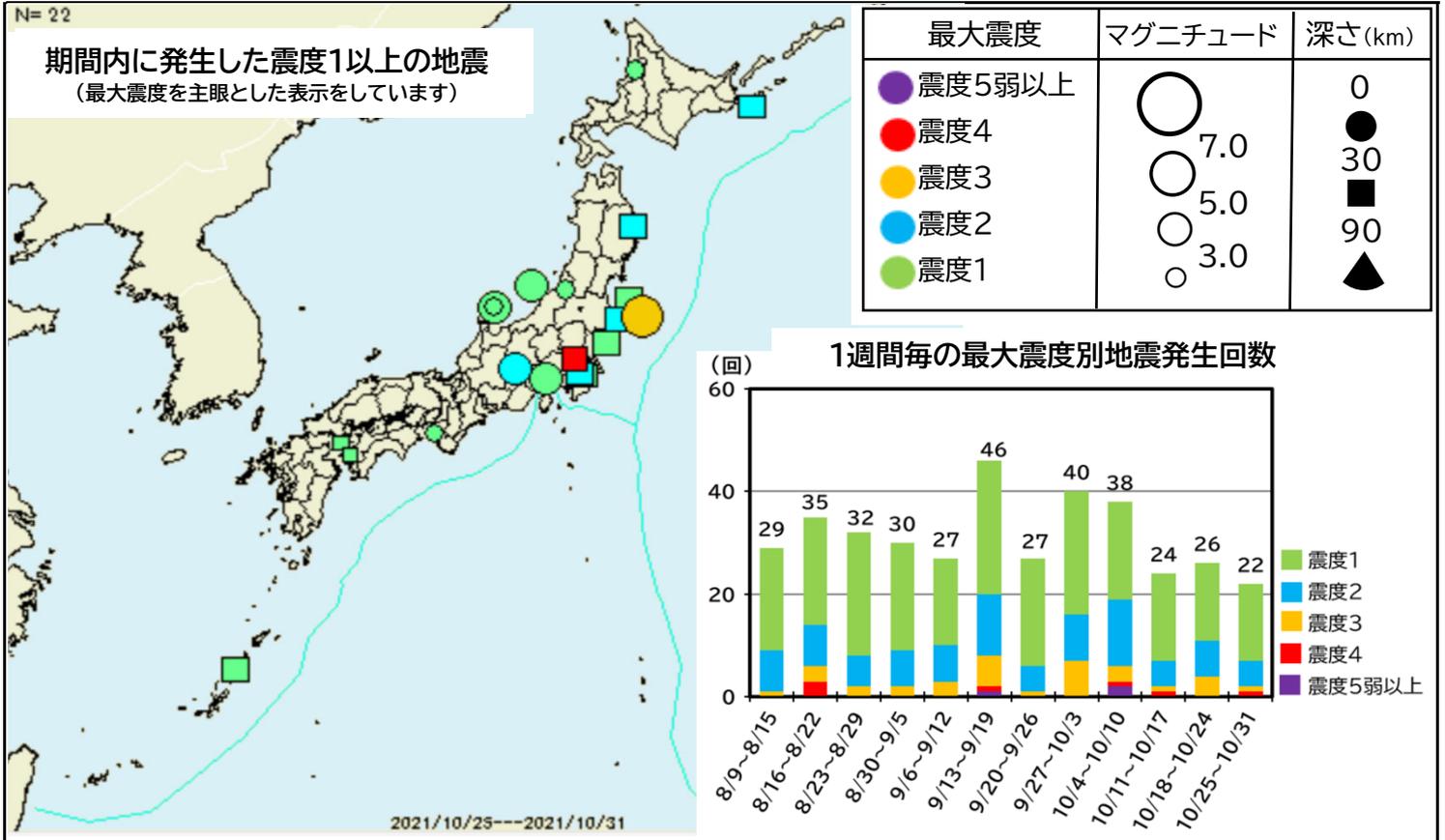


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が22回発生。最大震度は4(茨城県南部)。 ■
- ・27日01時27分に福島県沖で発生した地震(M5.0、深さ23 km)により、福島県玉川村及び大熊町で震度3を観測したほか、東北地方南部から関東地方にかけて震度2~1を観測。
- ・28日09時55分頃に茨城県南部で発生した地震(M4.5、深さ45km)により、茨城県坂東市で震度4を観測したほか、関東地方、福島県、山梨県及び静岡県で震度3~1を観測。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。
- ・(期間外)1日06時14分に茨城県北部で発生した地震(M5.2、深さ60km:速報値)により、福島県、茨城県、栃木県で震度4を観測したほか、青森県から岐阜県にかけて震度3~1を観測。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。2020年12月30日にも同じ場所で同じ規模の地震が発生し、水戸市、白河市、益子町などで震度4を観測している。

トピックス

■ 安政東海地震・安政南海地震 / 津波防災の日 ■

- ・旧暦の嘉永7年(安政元年、1854年)11月4日の午前9時頃に、東海・熊野沖を震源として安政東海地震が発生した。
- ・その約31時間後の、翌5日の午後4時頃に、紀伊半島・四国南方沖を震源として安政南海地震が発生した。
- ・共にフィリピン海プレートとユーラシアプレート境界の南海トラフで発生したマグニチュード8クラスの巨大地震であり、揺れと津波によって大きな被害が広範囲に及んだ。
- ・この時の出来事を記した史料の中には、はるか将来に同じような巨大地震と、それによる津波の再来を予測して、被害を少なくするための行動などを子孫に伝える形で紙や石碑に書き残したものも少なくない。
- ・安政南海地震により、大津波が和歌山県広村(現:広川町)を襲った時、濱口梧陵は稲むら(取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの)に火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話にちなみ、11月5日を津波対策についての理解と関心を深めることを目的とした「津波防災の日」とすることが定められた。
- ・この実話をもとにして作られた物語が「稲むらの火」です。